

出張報告

「二十二社調査」

この度、文化庁補助金事業「平成26年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業「東京・渋谷から日本の文化を発信するミュージアム連携事業」の一環として、「資料アーカイブによる教育・映像コンテンツ作成」に関わる画像・コンテンツ収集調査」を「二十二社」を対象として行った。以下では調査概要を、(1)目的と方法、(2)二十二社について、(3)調査スケジュールと調査員、(4)調査成果と今後の流れについて、の4点より報告する。

(1) 目的と方法

本調査の目的は、神社の有形文化財や祭礼等の無形文化財について、オリジナルの画像・映像コンテンツ素材を収集整理し、ウェブ上での公開による内容の充実をはかることにある。この度は二十二社を対象として、2014年8月～9月にかけ延べ3回の出張調査を行った。

調査方法は、調査員が現地を実際に訪れ、デジタルカメラ・ビデオを用いてオリジナルの画像・映像コンテンツの収集に努めた。

(2) 二十二社について

調査先として選定した「二十二社」は、平安時代中期から中世半ばまで朝廷の格別な崇敬を受けた神社である。国家の重大事や天変地異などに際し、奉幣使が立った二十二の社を指す。格式の高い順に上七社、中七社、下八社と呼ばれ、該当する社は以下の通りである（括弧内は現在の社名）。いずれも近畿地方に鎮座する社である。

【上七社】

伊勢（伊勢）神宮
石清水（石清水八幡宮）
賀茂（賀茂別雷神社、賀茂御祖神社）
松尾（松尾大社）
平野（平野神社）
稲荷（伏見稲荷大社）
春日（春日大社）

【中七社】

大原野（大原野神社）
大神（大神神社）
石上（石上神宮）
大和（大和神社）
広瀬（広瀬大社）
竜田（龍田大社）
住吉（住吉大社）

【下八社】

日吉（日吉大社）
梅宮（梅宮大社）
吉田（吉田神社）
広田（広田神社）
祇園（八坂神社）
北野（北野天満宮）
丹生（丹生川上神社（上社・中社・下社））
貴船（貴船神社）

(3) 調査スケジュールと調査員

出張調査は三度に分けて行われた。調査日程は以下の通りである。

① 2014年8月1日～3日

② 2014年8月23日～25日

③ 2014年9月6～8日

調査は、井上順孝研究開発推進機構機構長、鈴木聡子日本文化研究所助教以下、下記の調査員、延べ11名によって行われた（敬称略・50音順）。

井上順孝、鈴木聡子

天田顕徳、李和珍、齋藤公太、杉内寛幸、富澤宣太郎、ハイ・レ・イェン、藤井麻央、ベレズキン・リイサ、吉田尚文

(4) 調査成果と今後の流れ

この調査により、10,258件のデータが収集された。そのうち10,060件が写真データ、

198件が映像データとなっている。収集できた1万件を超えるオリジナル・データは、現在の二十二社の様子を知るうえで貴重な資料と言えるだろう。

現在、公開を前提とした収集データのデータベース化作業を日本文化研究所と國學院大學博物館が進めている。具体的な作業内容としては、日本文化研究所において、撮影対象毎にデータを分類し、キーワードなどのタグ付け作業を行うことや、写真へのライセンス付け（全ての写真に“Kokugakuin University”の文字を加える）が行われ、博物館において、館内展示やデジタル・ミュージアム上でのデータの活用・公開を目指した写真の選定・再整理作業が進められている。

（天田顕徳）



丹生川上神社・上社



大神神社